

令和2年度特定外来種等対応状況

生物多様性センター

生物多様性センターでは第2次生物多様性えひめ戦略に基づき、外来生物対策の推進を図っており、外来種に係る情報収集と対応を業務の一環として実施していることから、令和2年度の対応状況と今後の対応について特定外来生物を中心に報告する。

哺乳類・鳥類4件、爬虫・両棲類3件、魚類3件、昆虫・クモ類23件、植物2件の情報提供があり対応を行った。ヒアリ類は写真または個体持ち込みによる判別を行った。外来カメに関しては写真による判別が中心であったが、今治市のカミツキガメに関しては平成30年度以降、継続的な捕獲調査を実施している。魚類ではガー科の1種が肱川河口域で捕獲された。

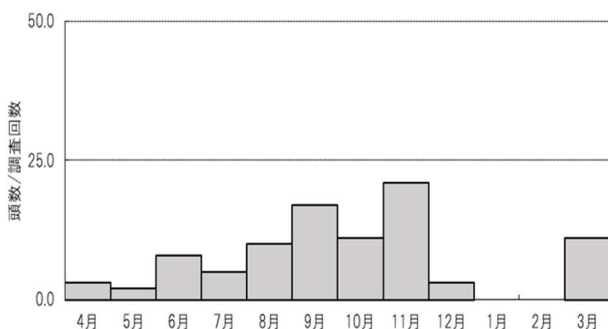
1 アライグマ

令和2年度は4月に東温市滑川周辺で1頭の幼獣のロードキルが確認された。周辺状況調査を実施したが、確実な生育情報や痕跡は確認されなかった。当該地域での情報収集を東温市と連携し継続している。平成30年度にアライグマの生息が確認された松山市と松前町において痕跡調査を継続しているが、アライグマの特徴を有する痕跡は確認されていない。

2 ゴケグモ類(セアカゴケグモ・ハイロゴケグモ)

ハイロゴケグモは新居浜市で雌1頭と卵嚢が確認された。

セアカゴケグモは新居浜市と愛媛県が合同で確認初期段階における対応(捕殺およびモニタリング調査)を実施し、1回/月の頻度でモニタリング調査を令和元年8月から継続している。



セアカゴケグモ月別捕獲頭数(令和2年度)

本年度は12回の調査で91頭のセアカゴケグモを駆除した。松山市においても市と合同で周辺調査および1回/月のモニタリング調査を令和元年度から継続している。平成28年に複数個体が確認された西条市では1回/年の頻度で調査を行い、経過観察を行っているが、本種は確認されていない。令和2年6月以降に県内主要SA、道の駅において目視調査を実施したが、本種は確認されていない。

3 ヒアリ類(ヒアリ・アカカミアリ)

令和2年7月に松山市と新居浜市の港湾およびコンテナ内部で計6000頭のアカカミアリが確認され、関係機関と連携して初動対応を実施した。平成30年6月に新居浜市の港湾コンテナでアカカミアリ1頭が確認されたことを受けて、新居浜市の港湾を対象にバイトラップによるモニタリング調査を市と共同で継続している。令和2年度は8月と11月の2回のモニタリング調査を実施し、確認されたアリ類はオオズアリ属:1604頭、シワアリ属87頭、ルリアリ属:2頭であり、ヒアリ、アカカミアリは確認されていない。

4 外来カメ類

カミツキガメは今治市伯方で平成30年6月から今治市と共同で捕獲調査を実施している。

表 カミツキガメ捕獲調査実績(令和2年度)

捕獲日	方法	わな設置数	捕獲頭数
6月17日	カゴわな	18	2
6月26日	その他	-	1
7月8日	その他	-	1
7月17日	カゴわな	18	1
7月31日	目視/タモ網	-	1
8月19日	目視/タモ網	-	1
8月20日	カゴわな	20	2
9月10日	カゴわな	20	1
9月15日	カゴわな	20	0
10月6日	カゴわな	20	1

令和2年度は、のべ116基のカゴわなを設置し、11頭のカミツキガメが捕獲されたが、若齢(背甲長17cm以下の個体)の捕獲割合が増加し、全体の63.6%を占めた。

5 魚類

令和2年10月13日、肱川河口域でガーと思われる魚類が捕獲されたと通報があった。翌14日に現地確認したところ、全長110cm、体重8.8kgのガー科魚類であったことから大洲市等と連携して対応した。